

F-REDD Newsletter

Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project

Nov 2015 - Jan 2022

持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト (F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。農林省森林局(M AF-DOF)を実施機関として協力しています。

森林サブセクターワーキンググループ(FSSWG)会合が開催されました

ラオスでは政府と開発パートナー間の政策対話の場として年に一度の円卓会議が開催されていますが、その下部機構として10のセクターワーキンググループ(SWG)、そのうちの一つである農業・地域開発SWGにFSSWGが設置され森林に関する重要な政策等に関する意見交換の場となっています。各レベルのWGはラオス側代表が議長、開発パートナー代表が共同議長を務めていますが、FSSWGの議長は森林局長、共同議長はJICAラオス事務所次長となっています。また、F-REDDが事務局である計画・協力課を支援しています。

新型コロナウイルスによる会議開催制限等からFSSWGは2020年6月以来1年3か月ぶりに9月3日に開催されました。主要な議題は現在の2020年森林戦略に替わる2030年に向けての森林戦略(案)でしたが、森林率の動向、その要因、今後の森林政

策等について森林局より発表があり、その後、活発な意見交換がありました。また、EUのForest Law Enforcement, Governance and TradeのためのVoluntary Partnership Agreementの交渉やREDD+の進展状況についても意見交換が行われ、これらの議論を基に森林戦略2030は9月初めまでに次のドラフト作成、コメント、最終化、そして10月末の政府会議における承認を目指す予定です。F-REDDとしてはコメント収集等について事務局を支援するとともに、構成や内容についても独自に意見交換を行う予定です。



FSSWGの様子

UNFCCCのREDD+ MRV¹ 審査が完了しました

2020年7月に国連気候変動枠組み条約(UNFCCC)に提出されたラオスのREDD+成果²が、その後11月～約半年に亘るUNFCCCの技術審査を経て確定しました³。これによりラオスが2015-2018年にかけて達成した約12.8百万tCO₂eの排出削減と1.9百万tCO₂eの吸収増加がUNFCCCに認められたこととなります。同様の技術審査として世界で12か国目、東南アジアではマレーシア、インドネシアに続く3か国目の達成に、ラオスのREDD+への強い意欲が現れています。

技術支援を担ったF-REDDも、2018年～19年にかけての参照排出レベル(REL)の技術審査経験を活かして非常に効率的な対応ができました。このような経験を相手国政府と共に積み重ねることで、JICAのREDD+支援のさらなる進展に繋がることを期待しています。

*1: 温室効果ガスの排出削減・吸収量の測定 (Measurement)、報告 (Reporting)、検証 (Verification)

*2: 第17号、18号参照。

*3: UNFCCC REDD+ Web Platform (<https://redd.unfccc.int/submissions.html?country=lao>) にて公開。

第1回NFMS TWGが開催、3つのサブ・グループが始動しました

F-REDDはラオスの国家森林モニタリングシステム（NFMS）を支援しています。NFMSと言っても幅広いので、ラオスの場合はREDD+のMRVに必要な能力の構築から着手し、段階的に森林モニタリング活動やセーフガード・モニタリングとの連携に繋げていく方針です。このような段階的な拡張を進めるべく、これまでのREL/MRV Technical Working Group (TWG) をNFMS TWGへと改組し、そのもとにMRV、森林モニタリング、データ・マネジメントの3つのサブ・グループが新設されました。

この新たな体制に合わせて、NFMS TWGの第1回会合が7月29日に開催されました。各サブ・グループの活動予定のほか、UNFCCC REDD+ MRV審

査結果の報告、FCPF炭素基金向けのMRV準備状況、FAOによる森林面積分析の発表など、活発な意見が交わされ、一日では足りない内容となりました。多くのインプットや支援を受けて、ラオスのNFMSはさらなる進化を遂げていくでしょう。



第1回NFMS TWG会合

成果毎の主な活動

成果1：中央政府の森林セクター支援

- ◆森林戦略2020の評価および森林戦略2035の方向性検討
- ◆森林サブセクターワーキンググループ開催
- ◆保護林管理に関する首相令案の策定支援

成果2：REDD+実施による排出削減・吸収増加量の測定支援

- ◆森林劣化・回復モニタリング精度向上を含むNFMSロードマップ実施支援
- ◆NFMS web-portalの更新
- ◆県森林減少検知システム（PDMS）の改良と他地域展開準備

成果3：国レベルのREDD+支援

- ◆GCF REDD+成果支払い申請のための支援
- ◆NFMS TWGの設立と第1回NFMS TWGの開催支援
- ◆Laos REDD+ web-portalの更新支援
- ◆森林炭素取引に関する農林省規則案の策定支援

成果4：ルアンプラバン県およびウドムサイ県のREDD+準備支援

- ◆活動完了

コンタクト

プロジェクトオフィス

Kouvieng Street, Sisaket Village,
Chanthabouli District,
Vientiane Capital, Laos
Tel & Fax: 021(22)2536

プロジェクトHP

<http://www.jica.go.jp/project/laos/018/index.html>

次期半期のイベント

October - February

- GCF REDD+成果支払い申請のための支援
- NFMSの今後に向けたキャパシティ・ビルディング研修等
- 最終JCCの開催
- プロジェクト終了



農林省
Ministry of
Agriculture and
Forestry (MAF)



ジャイカ
国際協力機構